

I 類 B

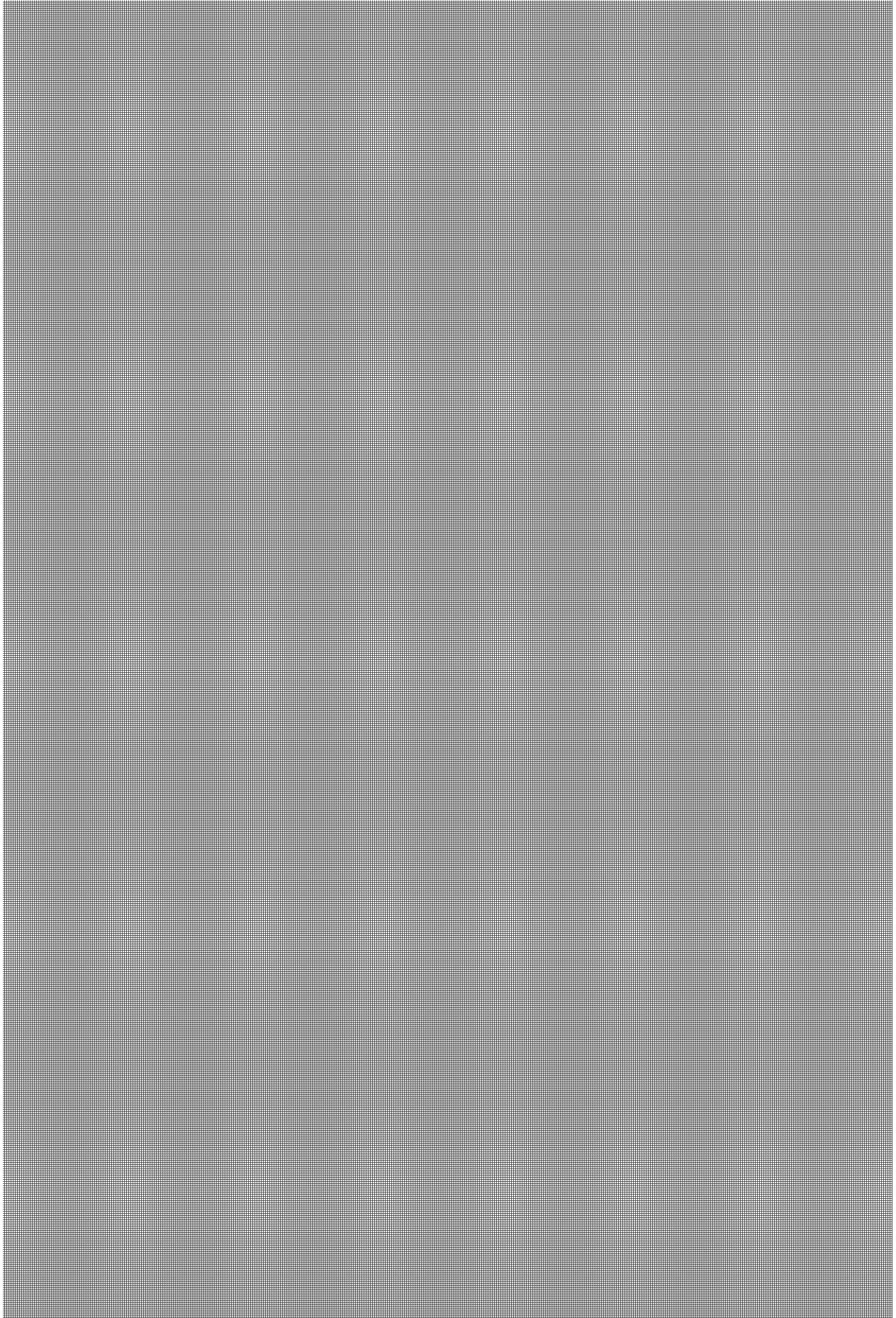
専 門 問 題

令和 5 年 9 月 施 行 職 員 採 用 (保 健 師)

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

- 1 問題は全部で **15 題**あり、ページ数は **16 ページ**、試験時間は **1 時間 30 分**です。
- 2 択一問題については、選択肢（1～4）の中から正答を一つ選び、その番号を解答用紙【択一】に記入してください。
- 3 記述問題については、解答を解答用紙【記述】(A～C) に記入してください。
- 4 この問題用紙は、持ち帰ることができます。



自己効力感を高める4つの方法とその内容の組み合わせとして、正しいものを選びなさい。

- 1 成功体験 — その行動をとることで生理的状态や感情面で変化が起きること
- 2 代理体験 — 過去に同じか、似たような行動をうまくやった経験があること
- 3 社会的説得 — 信頼をおく人から「あなたならできる」と励まされること
- 4 情動喚起 — 自分と境遇の似た人が、その行動をうまくやるのを見ること

精神保健福祉施策に関する記述について、空欄に当てはまる語句として正しい組み合わせを選びなさい。

昭和 40 年	精神衛生法	<input type="text" value="ア"/> を精神保健行政の第一線機関として位置づけた。
昭和 62 年	精神保健法	任意入院制度、通信・面会などの権利の確保が規定された。
平成 7 年	精神保健福祉法※	精神障害者の福祉施策が盛り込まれ、 <input type="text" value="イ"/> された。
平成 11 年	精神保健福祉法※	精神医療審査会の機能の強化や移送制度が 新設された。
平成 25 年	精神保健福祉法※	<input type="text" value="ウ"/> や、医療保護入院の見直しが規定された。

※ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律

- 1 ア 市町村
イ 在宅福祉サービスが法定化
ウ 保護者制度の廃止
- 2 ア 保健所
イ 在宅福祉サービスが法定化
ウ 市町村の一元的サービス提供
- 3 ア 市町村
イ 精神障害者保健福祉手帳制度が創設
ウ 市町村の一元的サービス提供
- 4 ア 保健所
イ 精神障害者保健福祉手帳制度が創設
ウ 保護者制度の廃止

疫学的研究方法に関する記述について、正しいものを選びなさい。

- 1 コホート研究は、変数の分布を記述することに関心がある場合に使用し、一時点の曝露とアウトカムを同時観察し、関連を比較する。
- 2 症例対照研究は、アウトカム発生状況によって症例群と対照群を設定し、過去に遡って後ろ向きに追跡し、曝露状況を比較する。
- 3 生物学的研究は、集団を要因の曝露状況によって分類し、長期にわたって前向きに追跡し、アウトカムの発生状況を比較する。
- 4 横断研究は、仮説を検証することを目的とし、個人ではなく、集団単位的数据によって集団間の曝露とアウトカムを比較する。

学校における健康診断に関する記述について、正しいものを選びなさい。

- 1 年間の学校安全計画に基づいて実施する。
- 2 就学時健康診断と児童生徒等の健康診断の2種類がある。
- 3 児童生徒等の健康診断の実施主体は学校長である。
- 4 食中毒が発生した際に臨時の健康診断を行うことがある。

健康増進法に関する記述について、空欄に当てはまる語句として正しい組み合わせを選びなさい。

健康増進法は、「健康日本 21」を中核とする国民健康づくり・疾病予防、生涯を通じた を積極的に推進するための法的基盤として、2002（平成 14）年に制定された。

2018（平成 30）年に、受動喫煙対策をさらに強化するため、健康増進法の一部が改正され、 では原則 となった。2020（令和 2）年には、 以外の施設も含め、全面施行となった。

- | | | | | | | |
|---|--------------------------------|------|--------------------------------|------------|--------------------------------|-------|
| 1 | <input type="text" value="ア"/> | 健康管理 | <input type="text" value="イ"/> | 学校、病院、行政機関 | <input type="text" value="ウ"/> | 敷地内禁煙 |
| 2 | <input type="text" value="ア"/> | 疾病管理 | <input type="text" value="イ"/> | 学校、病院、行政機関 | <input type="text" value="ウ"/> | 屋内禁煙 |
| 3 | <input type="text" value="ア"/> | 疾病管理 | <input type="text" value="イ"/> | ホテル、旅館、飲食店 | <input type="text" value="ウ"/> | 敷地内禁煙 |
| 4 | <input type="text" value="ア"/> | 健康管理 | <input type="text" value="イ"/> | ホテル、旅館、飲食店 | <input type="text" value="ウ"/> | 屋内禁煙 |

東京都職員のAさん（38歳、男性）は、3か月前から手足の振戦やすくみ足の症状が出現し、医療機関を受診したところ、パーキンソン病（Hoehn&YahrⅡ）との診断を受けました。今後の生活について不安を感じたAさんは、保健所に相談しました。

Aさんが利用できる制度の説明について、正しいものを選びなさい。

- 1 国の定める指定難病のため、難病医療費助成制度の利用が可能である。
- 2 厚生労働大臣の定める特定疾病のため、介護保険の利用が可能である。
- 3 医療保険による訪問看護は、1日1回、週3回までの利用が可能である。
- 4 障害福祉サービスを利用するためには、障害者手帳の取得が必要である。

発達障害者支援センターに関する記述について、正しいものを選びなさい。

- 1 相談支援、発達支援、普及啓発などの役割があり、就労支援は行っていない。
- 2 発達障害児（者）への支援を行うことを目的とした専門的機関で、市町村が設置する。
- 3 専門機関と連携することで、一人ひとりに合った問題解決の指針を得ることができる。
- 4 事業内容は同一であり、人口規模や既存の地域資源の有無などの地域性を考慮しない。

公衆衛生看護管理の対象に関する記述について、正しい組み合わせを選びなさい。

- A 人事管理には、保健師の採用が含まれ、現行および将来の業務量予測や退職者の状況を勘案し、人事担当部署に計画的に働きかける必要がある。
- B 予算管理には、地区活動計画の進捗状況の把握やサービスの質と量の評価などがあり、保健師が適切に管理する必要がある。
- C 情報管理には、保健師が行う家庭訪問や相談経過の記録管理が含まれ、記録は公文書ではないが、保存や管理に留意する必要がある。
- D 業務管理には、業務量の管理が含まれ、業務必要量と稼働量とのバランスをとる必要がある。

- 1 AとC 2 AとD 3 BとC 4 BとD

事業評価の種類とその指標の組み合わせとして、正しいものを選びなさい。

- 1 ストラクチャー評価 — 職員体制、施設・設備の状況
- 2 プロセス評価 — 財源、人員、物品の投入状況
- 3 アウトカム評価 — 検診受診率、保健指導実施率
- 4 アウトプット評価 — 検診結果の改善、死亡率の変化

ヘルスリテラシーに関する記述について、正しいものを選びなさい。

- 1 健康行動における枠組みとして最も広く使われてきたモデルであり、個人の健康行動、特に保健信念に焦点をあてた理論
- 2 健康を高めたり、維持したりするのに必要な情報にアクセスし、その情報を理解・利用するための、個人の意欲や能力を決定する、認知・社会的なスキル
- 3 コミュニティあるいは集団レベルの変化を扱い、さらに計画やプロセスの全体枠を示して、地域の健康診断・教育評価に活用されている健康教育モデル
- 4 知識の普及が健康問題に対する好ましい態度を形成し、人々の行動をより健康的なものに変え、好ましい習慣へとつながるという考え方

令和2年のエイズ発生動向に関する記述について、正しいものを選びなさい。

- 1 HIV感染者およびAIDS患者の年間新規報告数は、いずれも前年より減少している。
- 2 新規HIV感染者およびAIDS患者の感染経路は、いずれも同性間性的接触が8割を占める。
- 3 年齢階級別新規報告数は、HIV感染者は20歳代、AIDS患者は40歳代が最も多い。
- 4 保健所等におけるHIV検査件数および相談件数は、前年とほぼ同様である。

健康危機管理に関する記述について、空欄に当てはまる語句として正しい組み合わせを選びなさい。

厚生労働省健康危機管理基本指針によると、健康危機管理とは「医薬品、食中毒、、飲料水、その他の何らかの原因により生じる国民の、健康の安全を脅かす事態に対して行われる健康被害の発生予防、拡大防止、等に関する業務であって、厚生労働省の所管に属するもの」と示されている。

地域保健法第四条の規定に基づく、地域保健対策の推進に関する基本的な指針では、健康危機管理体制の確保について「都道府県及び市町村は、地域において発生しうる健康危機に対して、迅速かつ適切な危機管理を行えるよう、当該健康危機の際に生じ得る地域住民へのな影響も考慮した上で、地域における健康危機管理体制を構築する必要がある。」と定められている。

- | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|----|---|----|---|-----|
| 1 | ア | 災害 | イ | 生命 | ウ | 回復 | エ | 精神的 |
| 2 | ア | 感染症 | イ | 生活 | ウ | 治療 | エ | 身体的 |
| 3 | ア | 災害 | イ | 生活 | ウ | 回復 | エ | 身体的 |
| 4 | ア | 感染症 | イ | 生命 | ウ | 治療 | エ | 精神的 |

Bさん（67歳、男性）は妻と2人暮らしで、8か月前からしゃべりにくさ、水分や食物の飲み込みにくさ、全身の筋力低下などが出現し、医療機関に検査入院したところ、筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断された。

退院にあたって、入院医療機関より保健師の関与の依頼があり、病院訪問を計画した。

1 地区担当保健師として、初回訪問時の支援のポイントを5つ挙げなさい。

①
②
③
④
⑤

2 初回訪問後、Bさんの了解のもと保健師が療養支援チームを構築することとした。必要と考えられる専門職を具体的に5職種挙げなさい。

①
②
③
④
⑤

解答は、解答用紙

A

 に記入しなさい。

麻疹について、以下の2つの設問に答えなさい。

1 麻疹に関する記述について、①～⑤の空欄に適切な語句を記入しなさい。

麻疹は①によって引き起こされる感染症であり、②感染、飛沫感染、接触感染と様々な感染経路を示し、その感染力は極めて強い。

麻疹に対して免疫を持たない者が感染した場合、典型的な臨床経過としては、10～12日間の潜伏期を経て発症し、カタル期、③、回復期へと至る。

最も有効な予防法はワクチン接種によって麻疹に対する免疫を獲得することであり、④回のワクチン接種により発症リスクを最小限に抑えることが期待できる。

麻疹は、感染症法では⑤類感染症となっており全数報告対象疾患である。医師は診断後直ちに最寄りの保健所へ届け出ることになっている。

①
②
③
④
⑤

2 麻疹患者の発生届が保健所に提出されたため、保健師は患者に連絡し、聞き取り調査を行うことになった。この時に患者から聞き取る必要がある情報を3つ挙げ、それぞれの情報を聞く理由も答えなさい。

	聞き取る必要がある情報	情報を聞く理由
1		
2		
3		

解答は、解答用紙 B に記入しなさい。

地域包括ケアシステムについて、次の問いに答えなさい。

1 地域包括ケアシステムの構成要素を5つ記入しなさい。

①
②
③
④
⑤

2 地域包括ケアシステムにおける保健師の役割を2つ挙げなさい。

①
②

解答は、解答用紙

C

 に記入しなさい。

【 メ モ 】

